

多摩市の図書館

1 令和2年度の多摩市立図書館

(1)主なできごと

- ・セルフ貸出機などを関戸・永山図書館に導入

利用者サービスの向上と業務の効率化を目的に、関戸図書館、永山図書館にICタグの技術を活用したセルフ貸出機、セルフ返却機、予約受取コーナーを設置し、令和2年10月から運用を開始しました。運用の前段の令和2年4月から8月にかけて、図書館全館の全資料(約78万点)にICタグを貼付し、エンコードする作業を行いました。

- ・中央図書館整備に係る実施設計の完了及び建設工事の契約締結

中央図書館整備に向けて、昨年度から取り組んできた実施設計は、令和2年3月中の完了を予定していましたが、設計変更が必要になり、令和2年5月に完了しました。

実施設計を基に、令和2年6月から8月に中央図書館建設工事と関連する付帯工事3件(計4件)の入札手続きを行いました。このため、設計内容や設計金額の一部を見直し、11月から再入札の手続きに臨み、令和3年2月に4件とも落札されました。令和3年3月議会における契約議決も可決されましたので、落札業者と令和3年3月15日に契約締結しました。今後は、令和3年4月に着工し、令和4年12月に竣工、開館準備を経て、令和5年5月の中央図書館開館を予定しています。

詳細はP.85(V 中央図書館の整備に向けて)をご覧ください。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館やサービスを限定しての開館の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府から緊急事態宣言が発令され、都知事からの外出自粛や休館要請を受け、4月8日から5月24日まで全館臨時休館しました。5月23日からブックポストへの返却の再開、5月25日から予約資料の貸出、6月2日から図書館ホームページ、電話での予約の受付開始、6月8日から書架の資料の閲覧、窓口での予約受付開始と段階的にサービスを再開しました。返却資料は感染防止のため3日間の保管後に返却処理を実施(9月30日で終了)。また、閲覧室等の部屋の利用を10月7日(関戸図書館の活動室は10月10日)から再開しました。

- ・図書除菌機を本館、関戸・永山図書館に導入

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が心配される中、より安心して図書館を利用していただくために、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、紫外線殺菌で本を除菌消毒等する図書除菌機を購入しました。令和2年12月から本館、関戸図書館、永山図書館に設置し、運用を開始しました。

・電子図書館サービス開始

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の中、非来館型の情報提供サービスとして、令和3年1月25日に電子図書館サービスを開始しました。電子図書館サービスはパソコンやタブレット、スマートフォン等から、多摩市立図書館の電子書籍の閲覧・貸出、予約ができるサービスです。電子図書館を利用できる方は、多摩市に在住・在勤・在学の方で図書館に来館しなくても借りた本などを返却できるため、市民の利便性が高まりました。

詳細はP.27((9)電子図書館)をご覧ください。

・混雑状況お知らせサービスの開始

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館ホームページにリンクを貼った専用ページから各図書館の館内の混雑状況を3段階の表示により利用者が混雑状況を確認できる都内公立図書館では初めてのサービスを令和3年1月25日から開始しました。

都内の新型コロナウイルス感染者数の増加により、開始時期を早め12月14日から図書館ホームページの「図書館からのお知らせ」から外部サイトへのリンクにより館内混雑状況が確認できるようにしました。

・デジタルアーカイブの公開

令和3年1月25日から市指定有形文化財「調布玉川惣画図」等の貴重資料、埋蔵文化財発掘調査で出土した土器、多摩市史等をデジタル化し、インターネットを通じて公開するデジタルアーカイブを開始しました。

(2)主な統計データ

区 分	令和元年度	令和2年度	増 減	増減割合
蔵書数(点)	753,050	758,759	5,709	0.8%
資料購入費(円)	56,869,600	93,972,308	37,102,708	65.2%
個人貸出点数(点)	1,537,505	1,193,437	344,068	22.4%
多摩市の人口(人)	148,835	148,411	424	0.3%
市民1人あたりの貸出点数(点)	10.3	8.0	2.3	22.3%
登録者数(人)	86,959	47,216	39,743	45.7%
予約件数(件)	458,731	416,618	42,113	9.2%
団体貸出冊数(冊)	26,912	20,895	6,017	22.4%

蔵書数、登録者数は令和2年度末現在の数値

資料購入費は中央図書館用図書購入分を含む

人口:令和元年度は令和2年4月1日現在、令和2年度人口は令和3年4月1日現在

登録者数について:令和3年3月に「利用者データメンテナンス」(利用者カードによる貸出及び予約が2年以上行われていない利用者登録を利用停止状態にすること)を行った。

(3)令和2年度 主な事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サービスが制限される中で5つの運営方針に基づき重点事項を決め、新規・レベルアップの事業・取り組みの年間計画を立て、実施しました。また新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新たなサービスを開始しました。

運営方針1 だれもが使える図書館

が重点事項

【実施内容】

乳幼児を連れた保護者がより図書館を利用しやすくする

- ・各図書館で育児に関する雑誌や本を紹介するコーナーをより利用しやすくなるようにしたほか、ベビーカーの利用や授乳、おむつ交換ができる場所の案内を掲示するなど利用しやすい環境を作りました。

若年世代（10代後半から20代）の利用を促進する

- ・子ども読書まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、規模を縮小しビブリオバトルや図書館事業の紹介パネルなどの展示のみ実施し、ティーンズのページに掲載するなど若年世代に向けにもPRをしました。
- ・ティーンズ向けの雑誌や展示などの配架場所や掲示を工夫し利用促進を図りました。
- ・本を分類するために用いる日本十進分類法（NDC）の分類の特徴をティーンズ向けに擬人化キャラクターとして作成し、キャラクター紹介とともに図書を展示する企画展示を実施しました。

誰もが図書館を利用できるよう、高齢者や障がい者、多様な文化を持つ人々へのサービスに努める

- ・各館に分散していた英語多読用資料を本館に集め、レベルごとにまとめた英語多読本コーナーを外国語資料の近くに設置しました。
- ・日本の絵本で外国語に翻訳された絵本や英語多読用の資料を購入し外国語資料、外国語学習資料の充実を図りました。また、図書館ホームページのテーマ資料リストに「外国語のおすすめ本」を追加するとともに、外国人向けの情報誌に外国語資料を紹介する記事を掲載しPRしました。

運営方針2 子どもの読書環境の整備

【実施内容】

第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進

- ・令和元年度アクションプランの振り返りとプラン改訂を実施し、令和2年版を作成しました。またアクションプランを図書館内、関係課、市立小中学校で活用し、各施策の計画的な推進を行いました。

支援の必要な子どもたち向けの資料の利用を促進する

- ・マルチメディアデジターを特別支援教育に関心のある市民に向けて展示と説明をするなどPRするとともに支援の必要な児童、生徒向けに大活字本やLLブック、マルチ

メディアデイジー等の資料のセットを作成し、学校図書館や特別支援学級に貸出を実施しました。

運営方針3 市民や地域に役立つ図書館

【実施内容】

読書活動をおこなう団体がより図書館を利用しやすくする

- ・団体貸出利用団体の本の選定、運搬の負担を軽減し、利便性を高めるため、図書館があらかじめ季節などに合わせ選んだ本のセットを作り、学童クラブだけでなく児童館に対しても、団体貸出を前期・後期の2回実施しました。
- ・一般利用者の貸出冊数の上限の検討と合わせ、団体貸出制度の上限冊数についても実態に合わせて見直しました。見直し後、図書館ホームページに団体貸出についての案内ページを作成しました。

イベントや展示を実施し、新たな本との出会いを提供する

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、新たな本との出会いの場を提供する読書活動振興のための取組をおこないました。

令和2年度に取り組んだ内容は次のとおりです。

1)ビブリオバトルについての展示の実施

コロナ禍のため対面のバトルの代わりにイベントとして、ビブリオバトルを紹介する展示を子ども読書まつり《ほんともフェスタ》で実施しました。また展示だけでなく大妻女子大学 OLIVE（サークル）の協力を得て、これまでのビブリオバトルを振り返る冊子を作成し、配布しました。《ほんともフェスタ》の会場（グリナード永山、本館）で行い、図書館を利用しない市民へ広く知ってもらう機会となりました。

2)パルテノン多摩との連携企画展示の実施

パルテノン多摩で開催された連携企画展示「多摩のカヤ場の博物誌」の展示にあわせて関連する地域資料を図書館内で展示しました。

3)本の福袋を全館で実施しました。

地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブを構築し公開しました。

- ・市指定有形文化財「調布玉川惣画図」等の貴重資料、埋蔵文化財発掘調査で出土した土器、多摩市史等をデジタル化し、インターネットを通じて公開しました。一般には公開していない資料をデジタル化することで、原資料を保存しながら、広く公開し、随時閲覧・鑑賞が可能となりました。また、高精細ビューアや3Dビューアで公開することにより、普段広げて見ることでできない大きな資料や立体物の内側や裏側をデジタル画像で見ることができるなど、様々な仕掛けにより、資料を魅力的に公開することができました。
- ・パルテノン多摩、教育振興課（文化財担当）との連携により「デジタルアーカイブ活用講座」を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、YouTube 多摩市公式チャンネルで『調布玉川惣画図について』、『縄文土器について』

の講座を配信しました。

運営方針4 しらべるを支え、つながる図書館

【実施内容】

地域課題に合わせた企画展示を庁内各課などと連携し実施する

- ・各課から募集したテーマ（「多摩市消防団の紹介」「ひきこもり」「生物多様性」などの行政課題）を企画展示として取り上げました。令和2年度は16課2機関から希望があった31のテーマで企画展示（リスト公開のみ1テーマ）をおこないました。また新型コロナウイルス感染症拡大のため、講座の中止に伴い、展示が中止となったものが1テーマありました。

- ・東京2020大会に向け、都内公立図書館で共通テーマ「東京でおもてなし」での資料展示を実施し、令和2年度は、ニュースポーツをテーマにした展示を行いました。

地域や個人の課題を解決するため、レファレンスサービスの充実を図る

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインデータベースの利用を促進するための利用講座は実施しませんでした。

運営方針5 弾力的な管理・運営

【実施内容】

図書館本館再整備基本設計の完了と実施設計業務の取り組みについて

- ・5月に完了した実施設計を基に、建設工事等の入札手続きを6月～8月に行いましたが、不調となり、これを受けて、9月～10月に実施設計を見直し、11月～2月に再入札を行ったところ、落札されたため、3月の市議会での契約議決を経て、同月契約締結しました。着工は当初予定の10月から半年遅れの令和3年4月を予定しています。建設工事と並行して実施予定だった中央公園の伐採樹木活用事業も同様に4月からのスタートを予定しています。

詳細はP.85（V 中央図書館の整備に向けて）をご覧ください。

○ICタグ関連機器の運用開始

- ・令和2年10月からの運用開始を目指し、全館全蔵書にICタグの貼付エンコードを行いました。関戸・永山図書館にセルフ貸出機やセルフ返却機、予約受取コーナーに係るICタグ関連機器を設置し、10月から運用を開始しました。あわせて、利用者の円滑な利用を促すため、職員研修や操作資料の配布、操作動画の配信などを行いました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したサービスの開始

- ・令和2年12月に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、図書除菌機を本館・永山図書館・関戸図書館に設置しました。
- ・同様に地方創生臨時交付金を活用し、全館の館内の混雑状況を図書館ホームページからお知らせするサービスを令和3年1月に開始しました。
- ・令和3年1月から同臨時交付金を活用し、非来館型のサービスとして図書館ホームページから電子書籍の貸出ができる電子図書館サービスを開始しました。